

# 未指定文化財の被災調査と保護方法

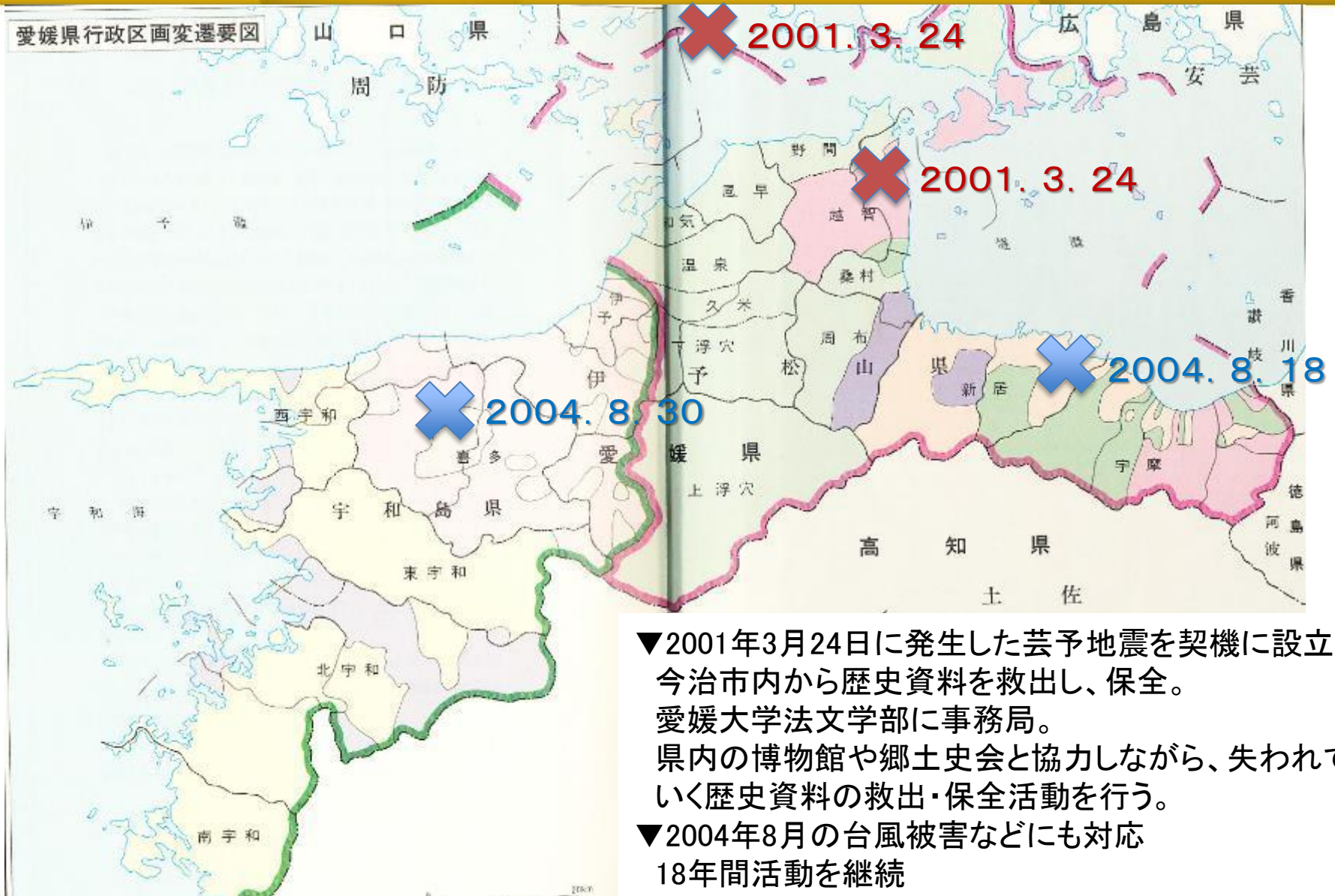
愛媛大学法文学部

教授 胡 光

EBESU Hikaru

愛媛資料ネット事務局長

# 1 愛媛資料ネットとは



# 1 愛媛資料ネットの活動2018





- ▼2001年3月24日に発生した芸予地震を契機に設立。  
今治市内から歴史資料を救出し、保全。  
愛媛大学法文学部に事務局。  
県内の博物館や郷土史会と協力しながら、失われて  
いく歴史資料の救出・保全活動を行う。
- ▼2004年8月の台風被害などにも対応  
18年間活動を継続

これまでの保全資料から

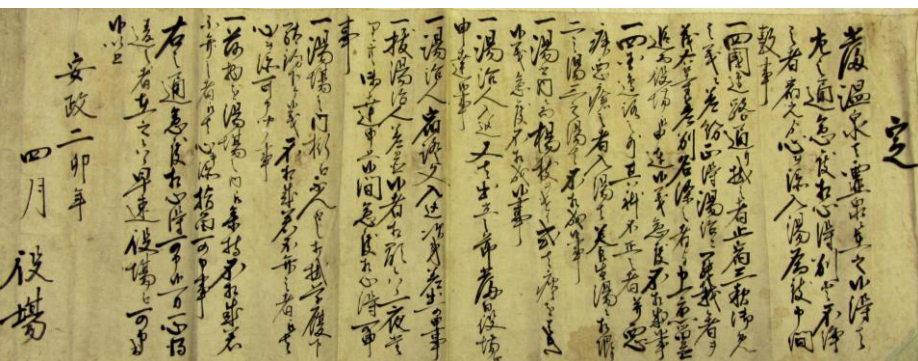
- ▼明治時代の別子銅山製錬に関わる、今治市内への公害関係史料
- ▼多喜浜塩田の安政南海地震の被害と復興史料
- ▼道後温泉の安政・昭和南海地震関係史料



吉村2012を改編



図1 四阪島（現 愛媛県今治市宮窪町四阪島）



## 2 西日本豪雨における文化財の被害と保全活動

### (1) 国・県・市町指定文化財

県教育委員会文化財保護課が市町と協力して対応

→所在地が把握され、すぐ報告(7/20:10市町27件、動産は1件)

→法令に基づき修復

### (2) 未指定文化財

愛媛資料ネットが県・市の博物館や郷土史会と協力して対応

→所在地調査から開始、緊急避難が必要



### 3 これまでの保全活動

#### (1) 大洲市内の旧家から被災直後に古文書・書籍救出

3件約20箱、洗浄・乾燥作業を実施(愛媛県歴史文化博物館と合同)

大洲八幡神社古学堂の和本など(江戸～明治の私塾。シーボルトの弟子三瀬諸淵、  
五稜郭設計者武田成章、書家三輪田米山などを輩出)

\* 同社の古文書2,600点は、大洲市教育委員会・愛媛大学の合同調査で前月までに  
搬出しており、無事。



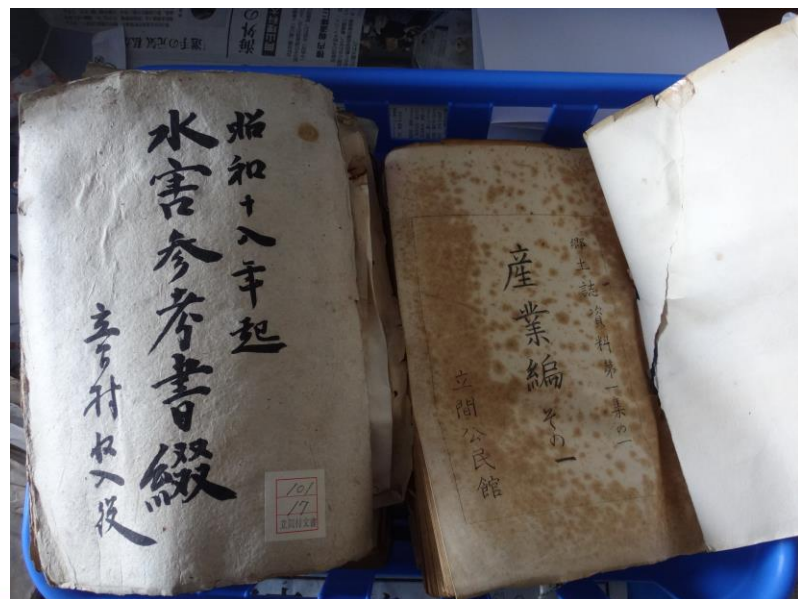
## (2) 宇和島市吉田町から古文書・書籍救出

1件約100箱4000点、大量のため今後の洗浄・乾燥作業に備えて、冷凍して保管中  
緊急避難した(7月15日)民間冷凍庫から、愛媛大学沿岸環境科学研究センター  
(es-BANK)へ搬入(8月6日)





**旧立間村文書**(江戸～昭和時代の行政文書。昭和30年に吉田町に合併されるまで江戸時代の村が継続した稀有な行政村。愛媛みかん原木を有するみかん栽培の歴史資料、国指定文化財を目指す吉田祭礼に関わる古文書、戦前の水害に関わる記録、四国遍路に関わる記録などがある。)



- 水損した歴史資料の良好な救出方法の模索・解明(冷凍・解凍・乾燥)
- 全国のモデルケース



- (3) 大洲市内の旧家で被災した甲冑などの復旧作業
- (4) 大洲市・八幡浜市と共同で被災写真レスキュー講座開催
- (5) ツイッターで資料保存の呼びかけや写真救出法の公開



## 4 今回の保全活動の課題と対策

- (1) 水損資料の取り扱いが困難で緊急を要すること  
資材や冷凍庫の確保、救出・保全活動の多様化・  
長期化 → 多方面の協力
- (2) 広域災害と甚大な被害のため、救出が追い付かない  
→ 県外からの協力
- (3) 未指定文化財マップの作成 → 所在調査が必要





図1 府県を単位とした災害時の歴史的資料保全団体の発展